

---

写真位置図作成支援ソフト

フォーマツプ

---

Version 2 追加機能 補足説明書

五大開発株式会社



## はじめに

このたびは、写真位置図作成支援ソフト「フォーマップ」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この取り扱い説明書は「フォーマップ Version2」の補足説明書です。バージョンアップに伴う変更点、操作上の注意などについて説明してあります。

これまでのフォーマップの開発経緯

フォーマップ バージョン	内容
Version1	写真管理
Version2	操作改良 写真位置図機能の強化 現場位置図機能 ため池劣化状況評価調査表の作成機能 写真位置 CAD/シェープ出力

# 目次

1.	追加機能の概略.....	1
2.	フロー対応.....	2
3.	写真選択を、写真を大きく表示した写真一覧画面で行う機能を追加.....	3
4.	地理院地図の最大ズームレベルを+2 拡大.....	6
5.	表示する地図タイルの変更機能を追加.....	7
6.	ichimill 軌跡を用いて写真の位置を正確に補正.....	9
7.	メインビューに表示している場所を、GoogleMap で開く機能を追加.....	10
8.	写真取込設定の条件追加.....	11
9.	背景地図の回転機能を追加.....	12
10.	背景地図の CAD 取込み時、カラーでの CAD 図面取込みに対応.....	14
11.	1 枚の写真位置図内で、P-1、A-1 など異なる接頭文字で写真への付番が可能.....	15
12.	位置図内写真のソートを、位置図上でマウスを用いて行う機能を追加.....	17
13.	写真位置とタグの接続線を表示可能.....	20
14.	現場位置図の作成機能を追加.....	21
15.	ため池劣化状況評価調査表の作成機能を追加.....	25
16.	写真台帳のパターンを追加.....	27
17.	写真一覧画面や写真台帳画面の表の出力を追加.....	29
18.	フォーマップで編集した写真情報を写真の Exif に書き込む機能を追加.....	30
19.	写真位置の CAD 出力機能追加.....	31
20.	写真位置のシェープ出力機能追加.....	32
21.	その他の操作説明について.....	33

## 1. 追加機能の概略

「フォーマップ Version2」では、以下の機能を追加しました。以降、各機能について、説明します。

機能	内容
操作改良	フロー対応
	写真選択を、写真を大きく表示した写真一覧画面で行う機能を追加
	地理院地図の最大ズームレベルを+2 拡大
	表示する地図タイルの変更機能を追加
	ichimill 軌跡を用いて写真の位置を正確に補正
	メインビューに表示している場所を、GoogleMap で開く機能を追加
	写真取込設定の条件追加
写真位置図機能の強化	背景地図の回転機能を追加
	背景地図を CAD 取込み時、カラーでの CAD 図面取込みに対応
	1 枚の写真位置図内で、P-1、A-1 など異なる接頭文字で写真への付番が可能
	位置図内写真のソートを、位置図上でマウスを用いて行う機能を追加
	写真位置とタグの接続線を表示可能
現場位置図機能	現場位置図の作成機能を追加
特定業務対応	ため池劣化状況評価調査表の作成機能を追加
出力機能強化	写真台帳のパターンを追加
	写真一覧画面や写真台帳画面の表の出力を追加
	フォーマップで編集した写真情報を写真の Exif に書き込む機能を追加
	写真位置の CAD 出力機能追加
	写真位置のシェープ出力機能追加

## 2. フロー対応

操作対象単位で分かれていた作業画面へのボタンを、作業の流れに沿った順番で配置するようにしました。

1. 共通情報

- 新規作成 (保存フォルダ作成)
- 写真取込
- 現場位置図

Ver1で撮影写真ペインにあった「写真取込」がフローに移動しました。

撮影写真 (30枚)

写真取込

取込設定 位置無時 並へ替え

削除

西 北 南 東

2. 写真位置図 / 写真台帳

- 写真位置図作成
- 写真位置図名称・属性
- 写真台帳

メインビュー

地図

標準 淡色 写真

位置図

位置図取込

地理院地図取込

コピー 削除

位置図名称属性 P1 写真順序付番 P3 コメント

Ver1でメインビューペインにあった位置図関連の操作をまとめました。

3. 出力

- 現場位置図出力
- 写真位置図 / 写真台帳 出力
- 写真位置 CAD / シェープ 出力

メインビュー

地図

標準 淡色 写真

位置図

位置図取込

地理院地図取込

コピー 削除

位置図名称属性 P1 写真順序付番 P3 コメント

4. 特定業務

- ため池劣化状況評価調査表

### 3. 写真選択を、写真を大きく表示した写真一覧画面で行う機能を追加

撮影写真ペイン上部の  ボタンをクリックして一覧選択画面を開きます。



写真のみを各サイズで一覧表示し、見やすい状態で写真の選択が可能です。

表示サイズの[大・中・小]のボタンで写真の表示サイズが変わります。



## ■写真のソート

[撮影日時][ファイル名]ボタンをクリックすると、その項目を基準に写真がソートされます。クリックするたびに昇順ソート(▲)、降順ソート(▼)が切り替わります。

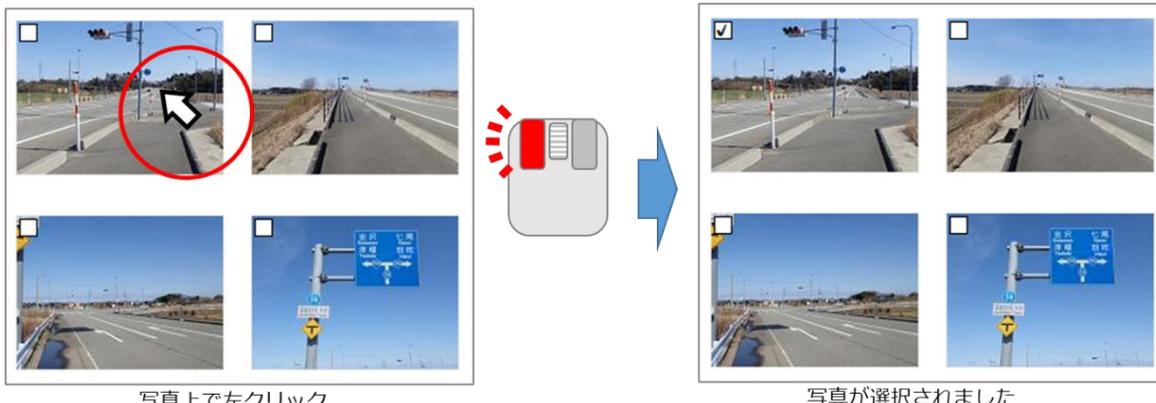


この画面内で行われたソートは、撮影写真一覧ペインには影響しません。

## ■写真の選択

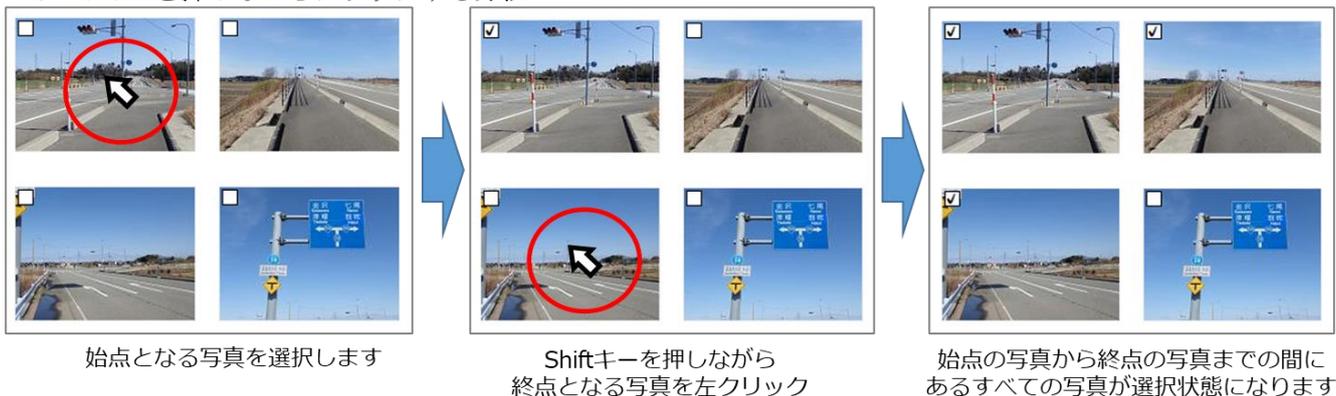
写真をクリックすると選択状態となります。選択状態の写真はチェックが付きます。

[OK]ボタンで一覧選択画面を閉じたとき、写真の選択状態が引き継がれます。

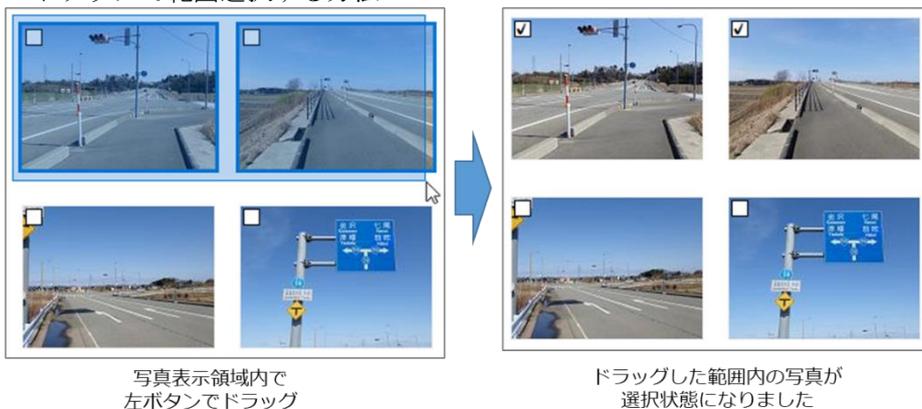


連続した写真を複数選択する場合2つの方法があります。

・ Shift キーを押しながらクリックする方法



・ ドラッグで範囲選択する方法



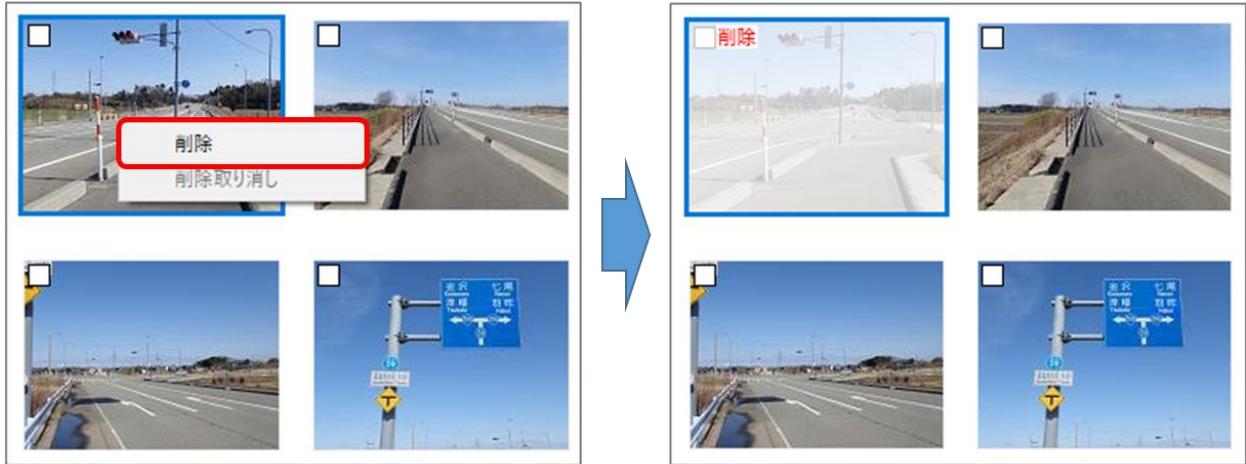
また、Ctrl+A で全ての写真が選択されます。

選択状態を解除する場合は、対象の写真をもう一度クリックしてください。

全ての写真を一括で選択解除したい場合は[選択全解除]ボタンをクリックしてください。

### ■ 写真の削除

プロジェクトから写真を削除します。[OK]ボタンでダイアログを閉じるまで写真の削除は確定されません。



写真上で右クリックすると  
メニューが表示されます

「削除」を選択すると  
写真が削除状態になります。

この操作は1枚ずつしか行えません。

### ■ 写真の削除取り消し



削除状態の写真上で右クリックすると  
メニューが表示されます

「削除取り消し」を選択すると  
削除状態が解除されます。

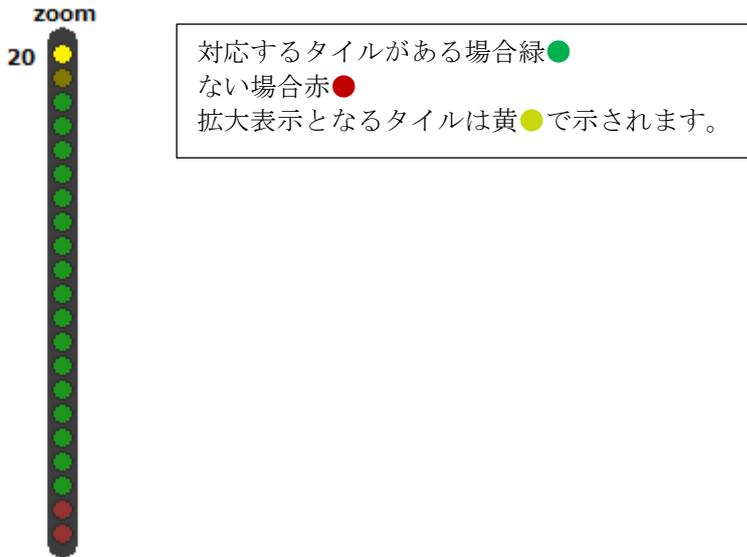
### ■ Excel 出力

一覧選択画面で行ったソートや写真の削除を反映した上で、以下の形式で Excel ファイルを出力します。

写真				
緯度	38.792551	38.792188	38.792781	38.791141
経度	138.744613	138.745019	138.744997	138.745019
撮影日時	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51
ファイル名	p000013.jpg	p000014.jpg	p000015.jpg	p000016.jpg
写真				
緯度	38.792551	38.792188	38.792781	38.791141
経度	138.744613	138.745019	138.744997	138.745019
撮影日時	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51
ファイル名	p000013.jpg	p000014.jpg	p000015.jpg	p000016.jpg
写真				
緯度	38.794545	38.794468	38.794101	38.784453
経度	138.744613	138.744997	138.744997	138.744997
撮影日時	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51
ファイル名	p000013.jpg	p000014.jpg	p000015.jpg	p000016.jpg
写真				
緯度	38.794545	38.794468	38.794101	38.784453
経度	138.744613	138.744997	138.744997	138.744997
撮影日時	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51	2020/02/29 18:58:51
ファイル名	p000013.jpg	p000014.jpg	p000015.jpg	p000016.jpg

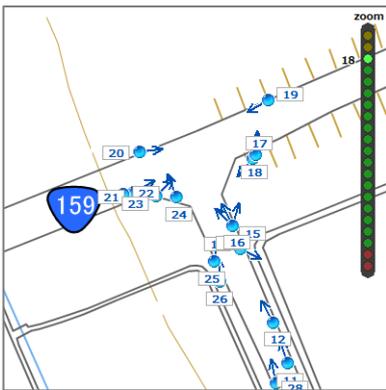
#### 4. 地理院地図の最大ズームレベルを+2 拡大

地理院地図で用意されているズームレベルに”+2”したズームレベルまで拡大できるようになりました。  
例えば、標準地図では最大ズームレベル 18 まで用意されていますので、ズームレベル 20 まで表示できます。

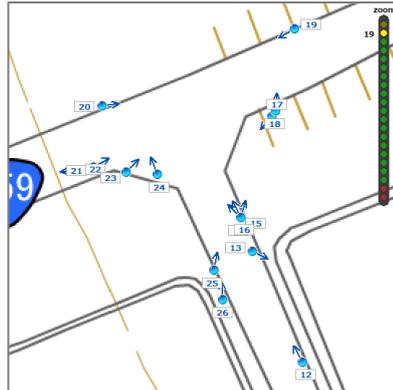


このズームレベル 19, 20 はズームレベル 18 のタイルを拡大して表示しているため、表示が粗くなります。

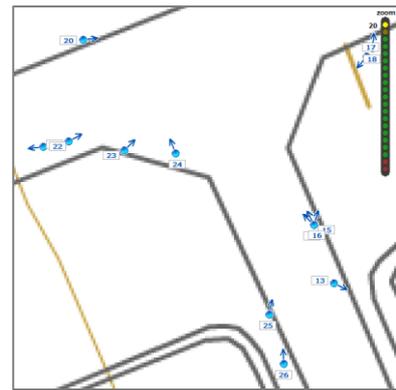
【18】



【19】



【20】



## 5. 表示する地図タイルの変更機能を追加

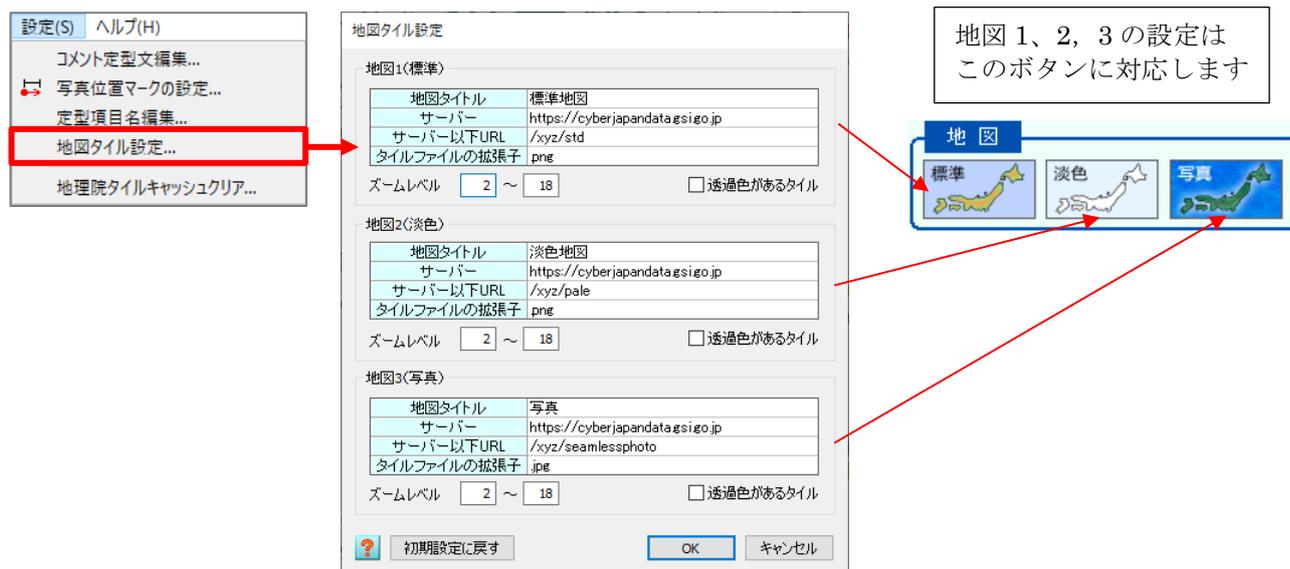
通常フォーマップでは、国土地理院の標準地図・淡色地図・写真の3種類の地図タイルを表示します。Version2からは必要な場合は別のタイルへ切り替えることができるようになりました。設定するタイルの種類については以下の国土地理院のURLをご参照ください。

<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

この地図タイル設定は、設定を行ったパソコンでのみ有効です。

また、地図タイルを変更する場合その地図タイルの利用規約をご確認ください。

メニューの[設定]-[地図タイル設定]をクリックすると地図タイル設定画面が開きます。



試しに、標準地図を活断層図に変更してみます。

活断層図（都市圏活断層図）

URL : <https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/afm/{z}/{x}/{y}.png>

データソース	活断層図（都市圏活断層図）	
ズームレベル	11~16	
提供範囲		
提供開始	平成25年10月30日	
備考	<p>本タイル画像を利用する場合は、「国土地理院コンテンツ利用規約」1.1) に定めるとおり、調査者を明記してください。</p> <p><a href="#">活断層図 凡例 [PDF 267KB]</a></p> <p><a href="#">活断層図 解説</a></p> <p><a href="#">活断層図 利用の手引 [PDF 2,645KB]</a></p>	

地図1(標準)

地図タイトル	活断層図
サーバー	https://cyberjapandata.gsi.go.jp
サーバー以下URL	/xyz/afm
タイルファイルの拡張子	png

ズームレベル  ~   透過色があるタイル

70-

1. 共通情報

新規作成 (保存フォルダ作成)

写真取込

現場位置図

2. 写真位置図 / 写真台帳

3. 出力

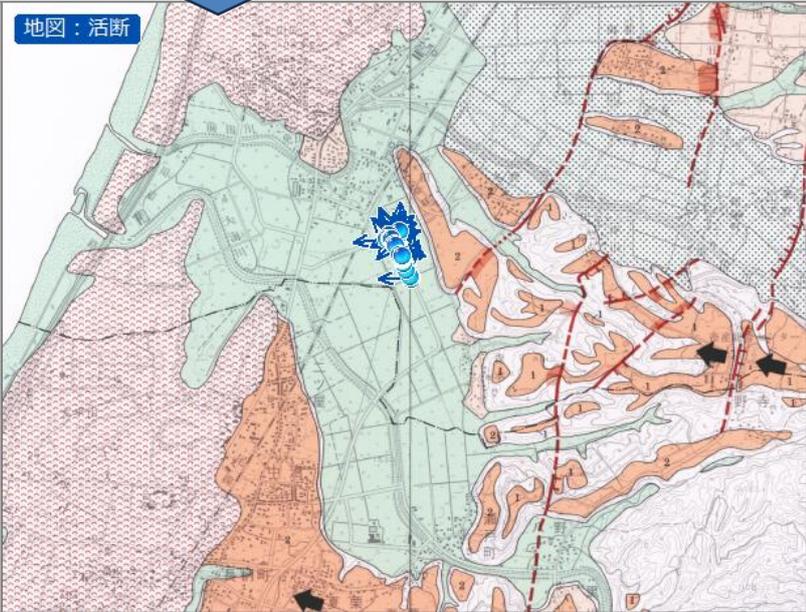
4. 特定業務

メニュー

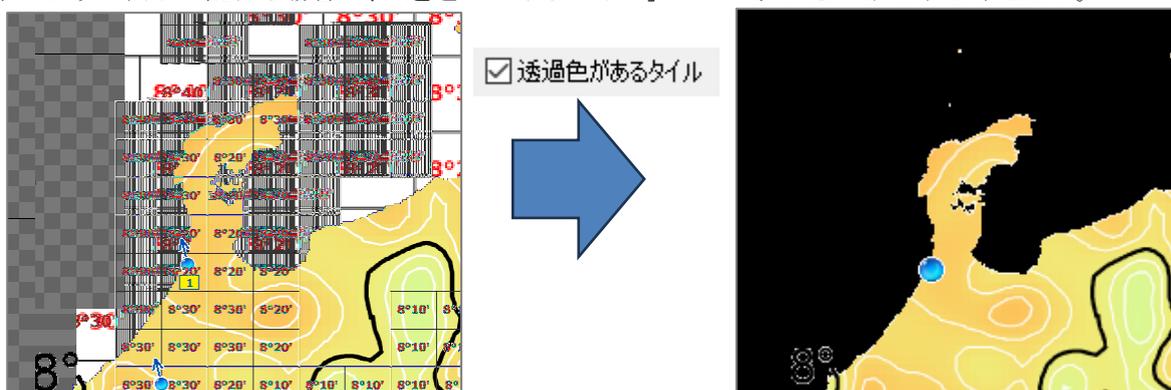
地図

標準 淡色 写真

地図：活断



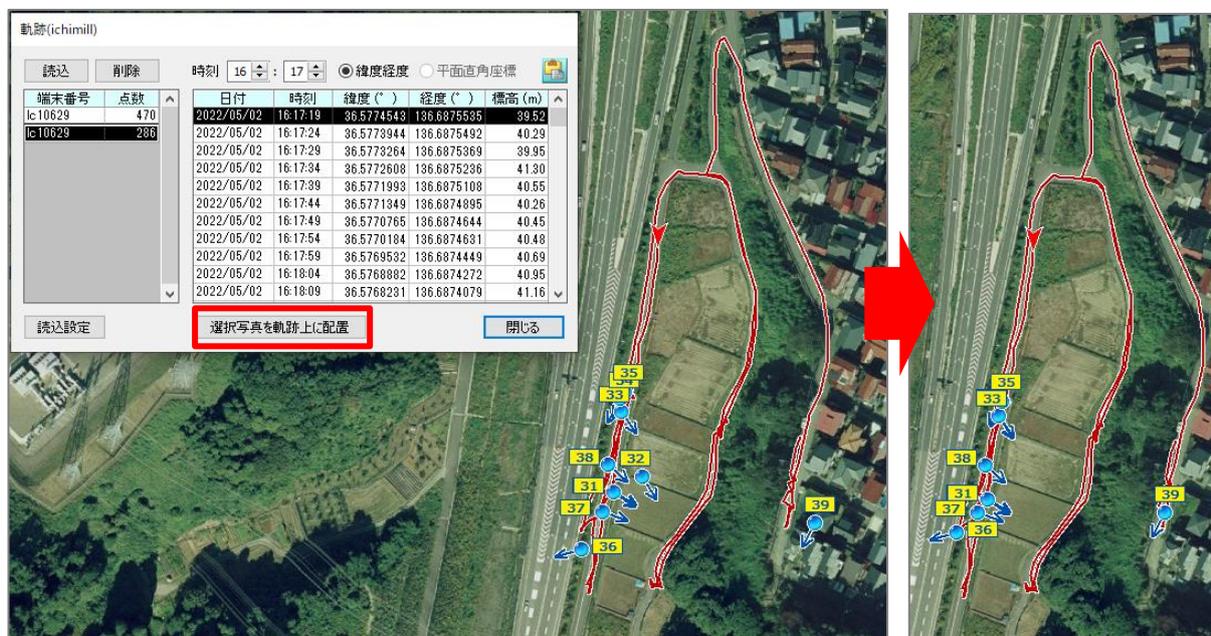
以下のように表示が乱れる場合は、「透過色があるタイル」にチェックをつけてみてください。



## 6. ichimill 軌跡を用いて写真の位置を正確に補正

写真の撮影時刻と ichimill 軌跡の時刻を突き合わせることで、写真の位置をより正確に補正できるようになりました。

基準となる軌跡と、位置合わせをしたい写真を選択してください。その状態で軌跡(ichimill)画面の[選択写真を軌跡上に配置]ボタンをクリックすると、ichimill 軌跡各点の日時と写真の撮影日時を照合し、写真が自動的に軌跡上に配置されます。

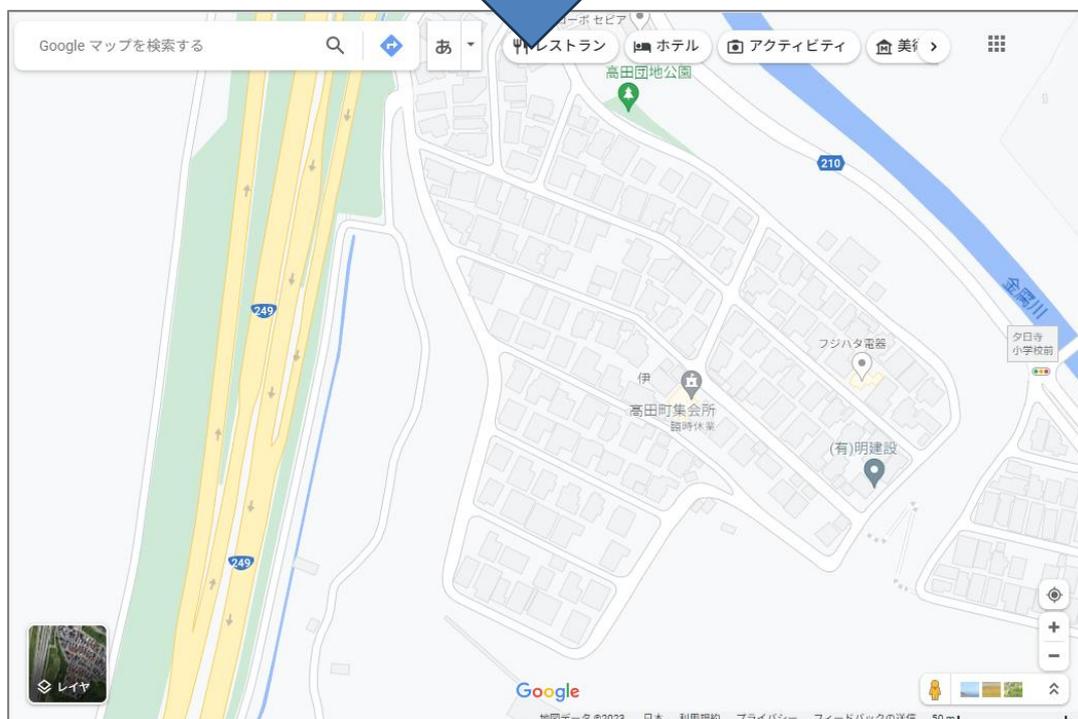


なお、軌跡の始点の日時以前または終点の日時より後の写真は選択していても位置合わせの対象外となります。

## 7. メインビューに表示している場所を、GoogleMap で開く機能を追加

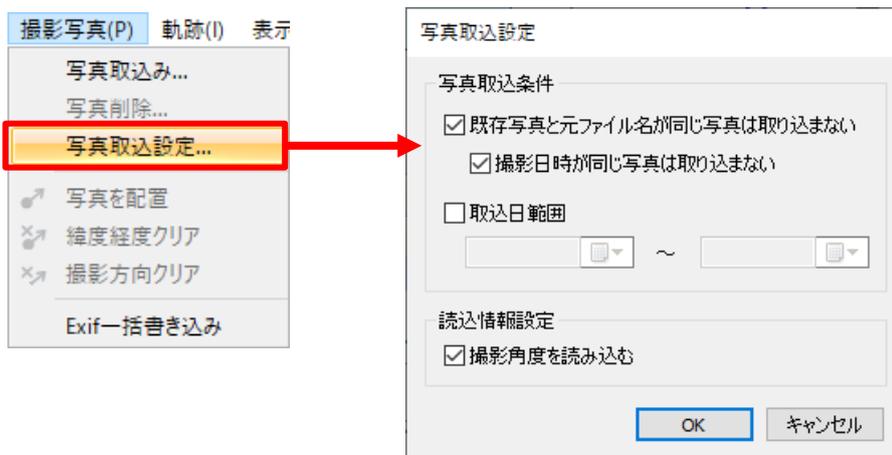
地理院地図または位置図上で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

「GoogleMap をブラウザで開く」をクリックすると、クリックした位置とその時のズームレベルで GoogleMap を開きます。



## 8. 写真取込設定の条件追加

写真取込設定画面に、写真取込条件として「撮影日時が同じ写真は取り込まない」を追加しました。メニューの[撮影写真]-[写真取込設定]をクリックすると写真取込設定画面が開きます。



「撮影日時が同じ写真は取り込まない」にチェックが付いていると、既に同じ元ファイル名かつ撮影日時も同じ写真が取り込まれなくなります。撮影日時が同じでも元ファイル名が違う場合その写真は取り込まれます。

例)

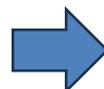
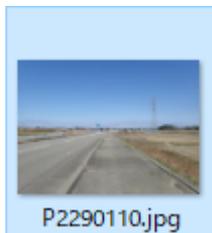
【条件】

- 既存写真と元ファイル名が同じ写真は取り込まない
- 撮影日時が同じ写真は取り込まない

【取込済み写真】

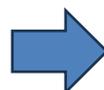
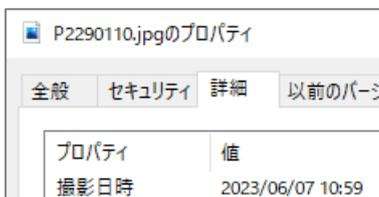
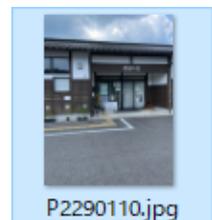
撮影写真番号	写真	緯度 (°) 経度 (°) 角度 (°)	撮影日時	ファイル名	元ファイル名
1		36.792850 136.749618 346.7	2020/02/29 10:29:48	p000001.jpg	P2290110.jpg

元ファイル名が同じ  
撮影日時も同じ



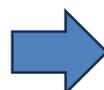
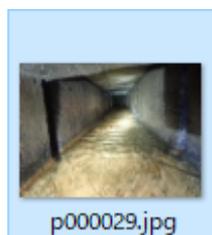
取込み失敗

元ファイル名が同じ  
撮影日時が違う



取込み成功

元ファイル名が違う  
撮影日時が同じ

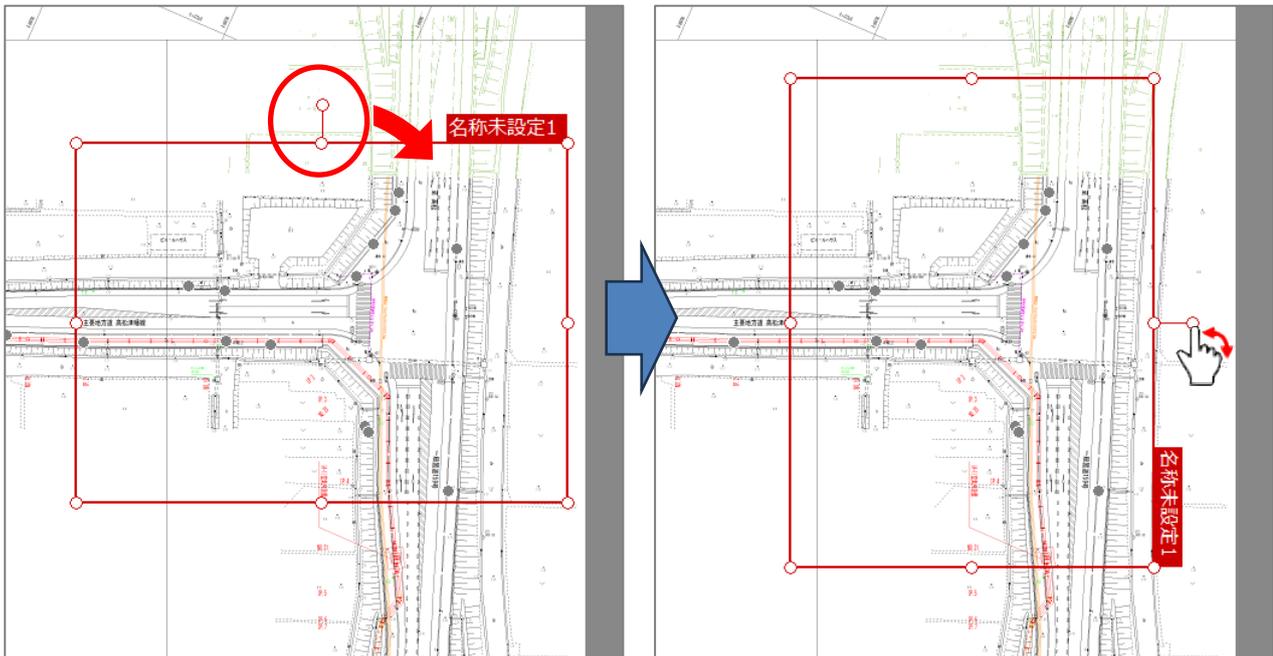


取込み成功

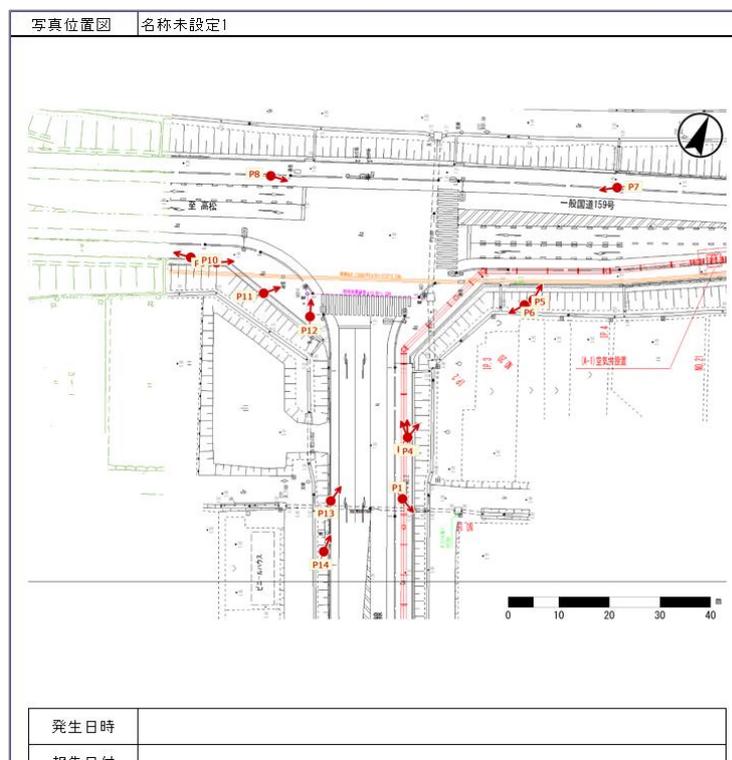
## 9. 背景地図の回転機能を追加

位置図を回転させることができるようになりました。

位置図を選択して枠が編集可能な状態で、枠上部の回転ハンドルを操作することで位置図枠が回転します。Shift キーを押しながら回転ハンドルを動かすと 15 度刻みで回転します。



回転した位置図を出力すると、このように枠上部が上になるように表示されます。



背景地図が地理院地図でも同様に回転させることができます。

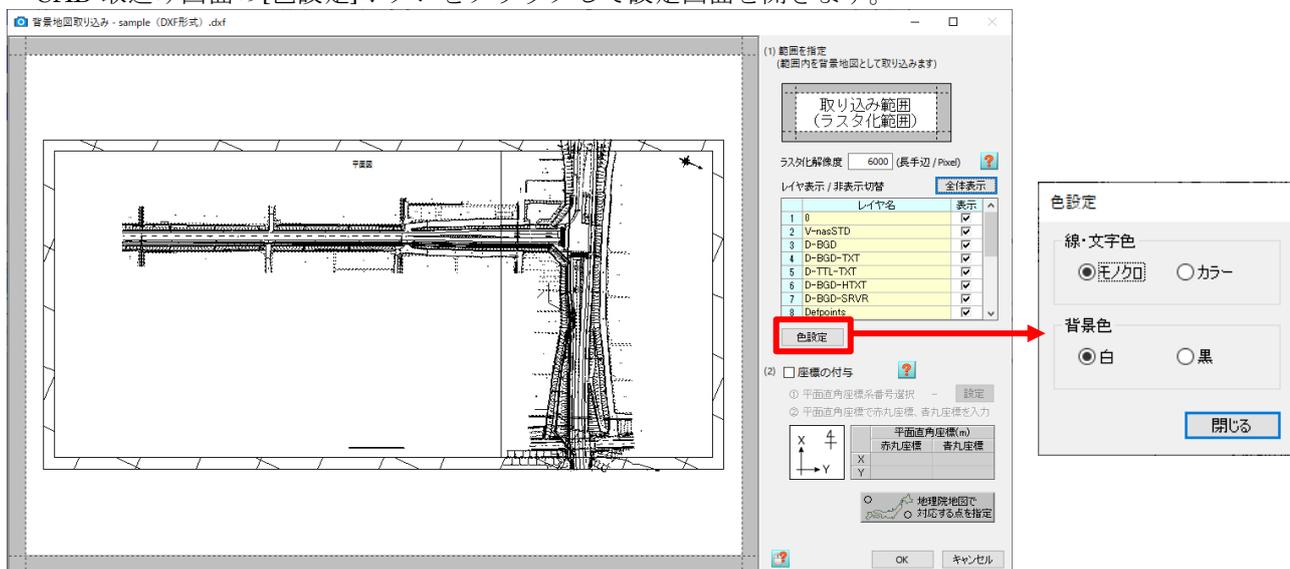


写真位置図	写真
<p>出典：地理院タイルに写真位置を追記して掲載</p>	
発生日時	
報告日付	

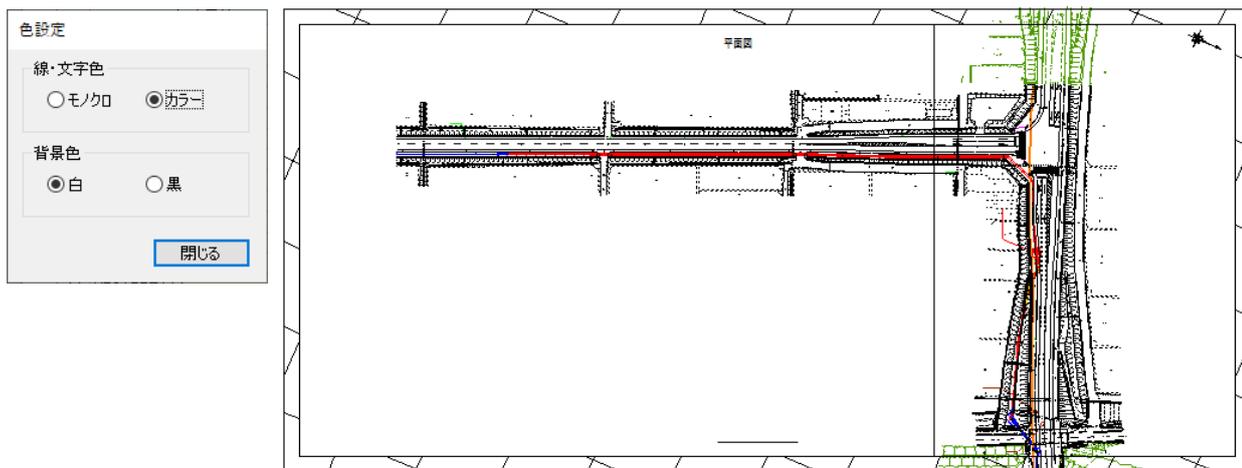
## 10. 背景地図の CAD 取込み時、カラーでの CAD 図面取込みに対応

CAD の文字・線をカラーにして取り込めるようになりました。ハッチングには対応していません。

CAD 取込み画面の[色設定]ボタンをクリックして設定画面を開きます。



「線・文字色」欄の「カラー」を選択すると、図面がモノクロからカラーに変わります。True Color は近似色のインデックスカラーに変換されます。



「背景色」は CAD 図面の背景の色を変更します。



## 11. 1枚の写真位置図内で、P-1、A-1など異なる接頭文字で写真への付番が可能

位置図の中で「A-」、「B-」など、異なる接頭文字を用いた付番が可能になりました。

写真台帳画面の[付番]ボタンをクリックすると、番号付番画面が開き位置図写真番号を編集できるようになります。



[連番付番]をクリックすると、連番開始番号から始まる”接頭文字+番号+接尾文字”の規則で変更後番号に付番されます。これにより一気に付番することが可能です。



すでに変更後番号が入力されている場合、その写真は連番付番の対象にならず飛ばされます。

先ほど付番した P1-P28のうち P16-P28を消し、接頭文字を A に変更して再度[連番付番]すると、P16 だった写真から接頭文字が A の連番が付番されます。



また、変更後番号を直接自由に入力することも可能です。

番号付番		位置図 写真 番号	変更後 番号	写真
連番 接頭文字 <input type="text" value="A"/>		**	P15	
連番開始 <input type="text" value="1"/>		**	dummy	
接尾文字 <input type="text"/>		**	A2	
<input type="button" value="連番付番"/>		**	A3	
↓ <input type="button" value="変更後番号を適用"/>		**	A4	
<input type="button" value="変更後番号のクリア"/>				
<input type="button" value="付番終了"/>				

変更後番号欄に入力し終わったら、[変更後番号を適用]ボタンをクリックしてください。位置図写真番号欄に変更後番号欄の文字列が設定されます。

番号付番		位置図 写真 番号	変更後 番号	写真
連番 接頭文字 <input type="text" value="A"/>		**	P15	
連番開始 <input type="text" value="1"/>		**	dummy	
接尾文字 <input type="text"/>		**	A2	
<input type="button" value="連番付番"/>		**	A3	
↓ <input type="button" value="変更後番号を適用"/>		**	A4	
<input type="button" value="変更後番号のクリア"/>				
<input type="button" value="付番終了"/>				

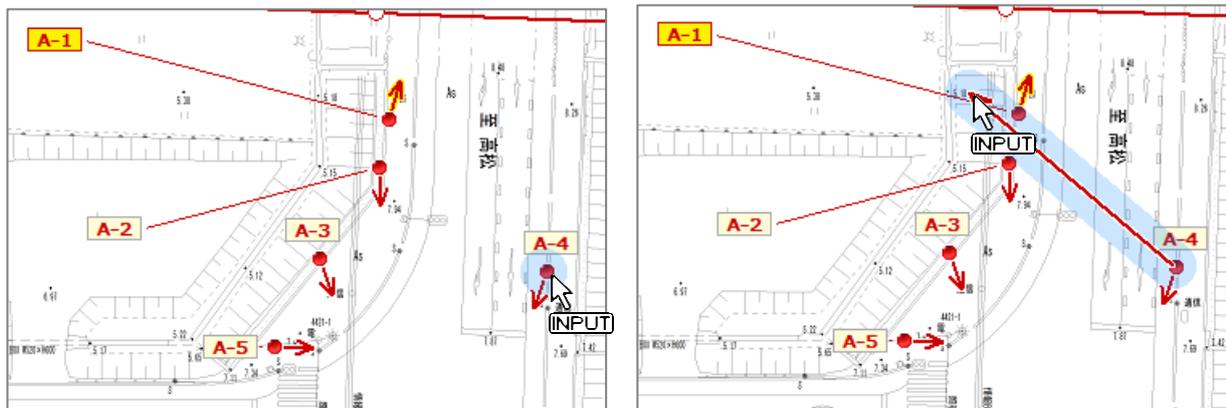
番号付番		位置図 写真 番号	変更後 番号	写真
連番 接頭文字 <input type="text" value="A"/>		P15		
連番開始 <input type="text" value="1"/>		dummy		
接尾文字 <input type="text"/>		A2		
<input type="button" value="連番付番"/>		A3		
↓ <input type="button" value="変更後番号を適用"/>		A4		
<input type="button" value="変更後番号のクリア"/>				
<input type="button" value="付番終了"/>				

## 12. 位置図内写真のソートを、位置図上でマウスを用いて行う機能を追加

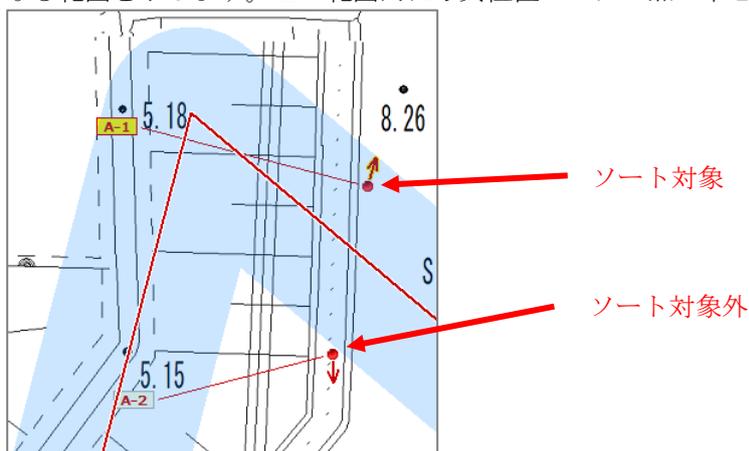
メインビューに表示された位置図上をクリックすることで線形を引き、その線に従ってソートを行います。

### (1)線形入力

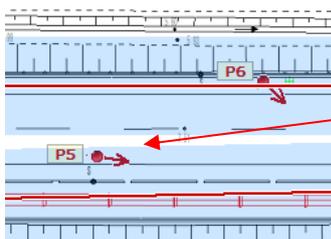
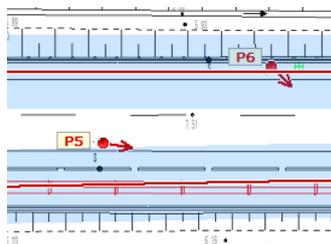
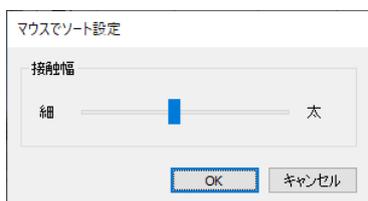
写真台帳画面の「マウスでソート」にチェックを付けます。ビュー上のカーソルが変化し、ソート用の連続線を左クリックで入力できるようになります。



クリックした点をつないだ連続線が赤矢印です。その赤矢印の周囲の青い塗りつぶし範囲はソートの対象となる範囲を示します。この範囲内に写真位置マークの点の中心が入っていればソートの対象となります。



 をクリックすると、マウスでソート設定ダイアログが開きます。接触幅のスライダーを動かすとビュー上の青い範囲が連動して変更されます。

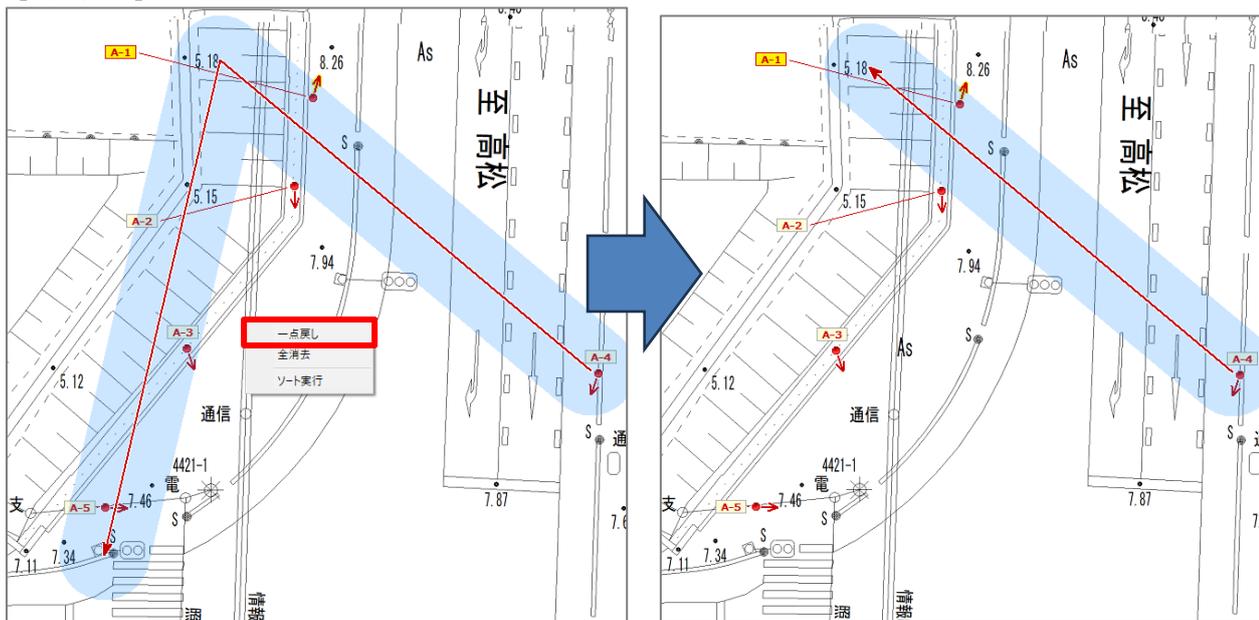


青範囲が広がったことによりソート対象外だった「P5」がソート対象となりました。

「太」方向に動かすと、青のソート対象範囲が大きくなります

右クリックすると「マウスで入力」用のポップアップメニューが表示されます。

**【1点戻し】**



**【全消去】**

入力した連続線を全消去します。

**【ソート実行】**

[位置写真リスト]が入力した連続線の始点から連続線に沿って並び替えられます。写真台帳画面の[実行]ボタンも同じ処理です。

位置写真番号	写真
A-1	
A-2	
A-3	
A-4	
A-5	

一点戻し  
全消去  
**ソート実行**

**実行**

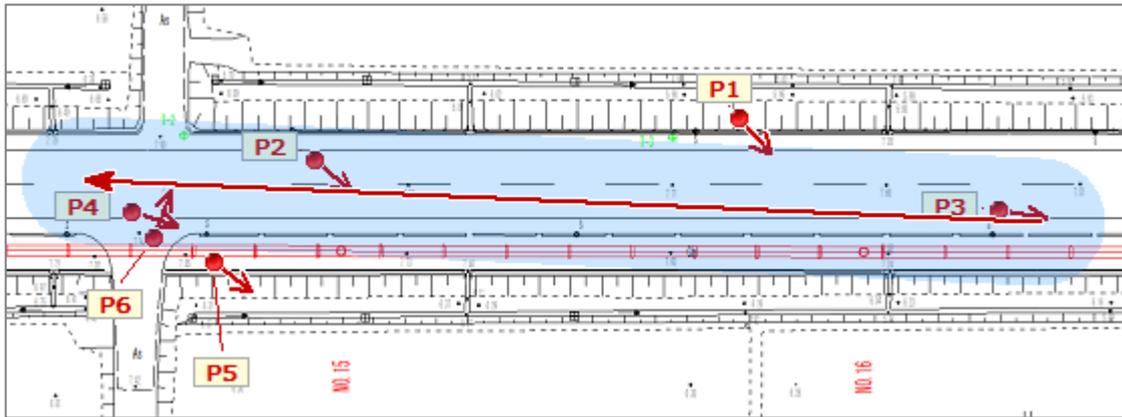
位置写真番号	写真
A-4	
A-2	
A-1	
A-3	
A-5	

☑ マウスでソート

■ソートの仕様

位置図内の写真を一部のみソートの対象とした場合、連続線の始点に近い写真を基点にソートされます。

例)



ソート前

位置図 写真 番号	写真
P1	
P2	
P3	
P4	
P5	
P6	

ソート対象

連続線の始点に近い写真  
ソートの先頭となる

ソート後

位置図 写真 番号	写真
P1	
P3	
P2	
P6	
P4	
P5	

ソートの先頭より前にある  
ソート対象外の写真は、そ  
のままの位置

ソート対象

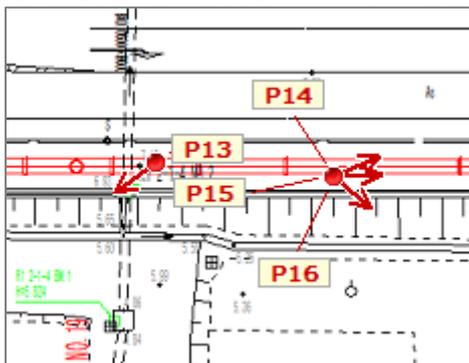
ソートの先頭より後ろに  
あったソート対象外の写真  
は、ソート対象の写真の後  
ろになる

### 13. 写真位置とタグの接続線を表示可能

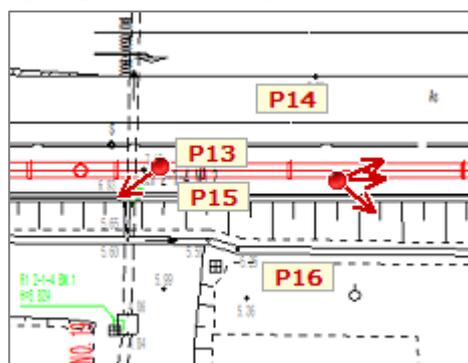
写真位置マークの設定画面に、写真位置記号から写真番号タグへの引き出し線の表示設定を追加しました。この設定はフォーマップのビューだけでなく出力にも反映されます。



【「引き出し線の表示」にチェックを付けると】



【「引き出し線の表示」のチェックを外すと】



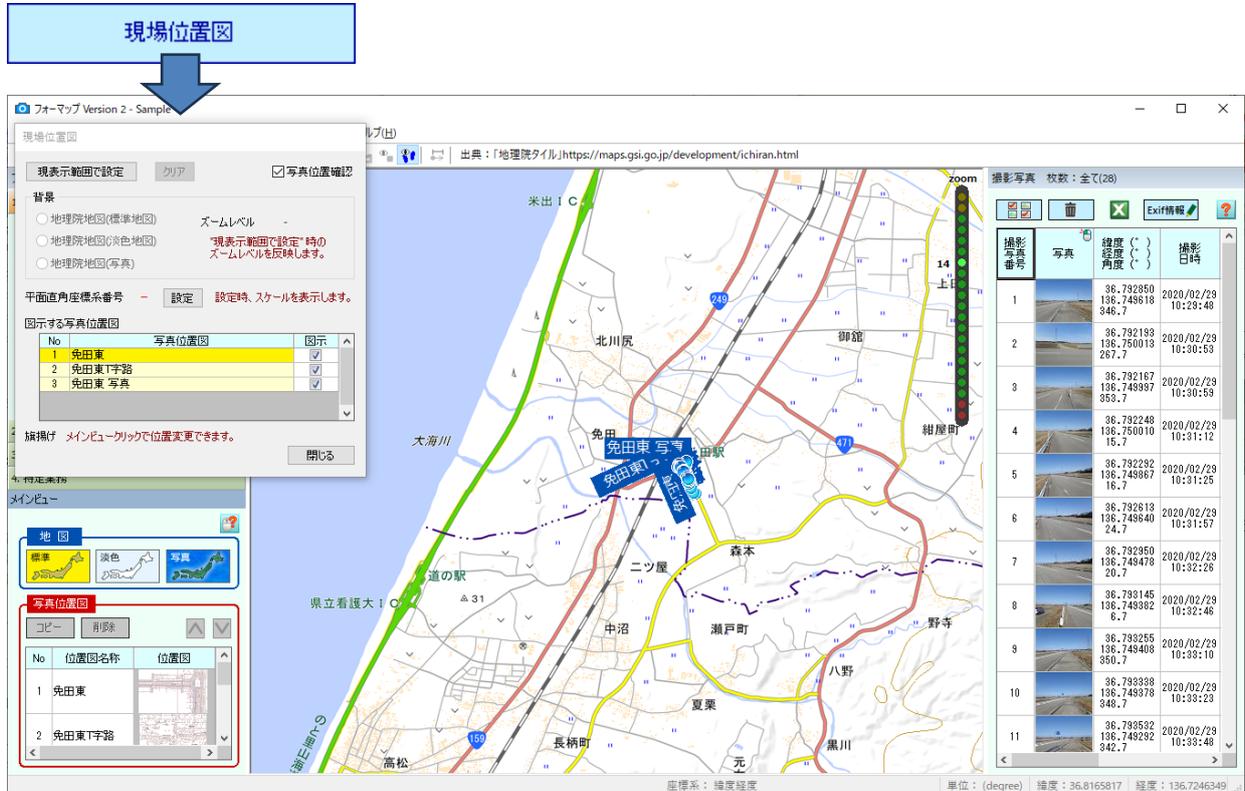
タグ表示の重なりを回避するためタグを離れたときでも、どの写真位置に対応するタグなのかわかりやすくなりました。

## 14. 現場位置図の作成機能を追加

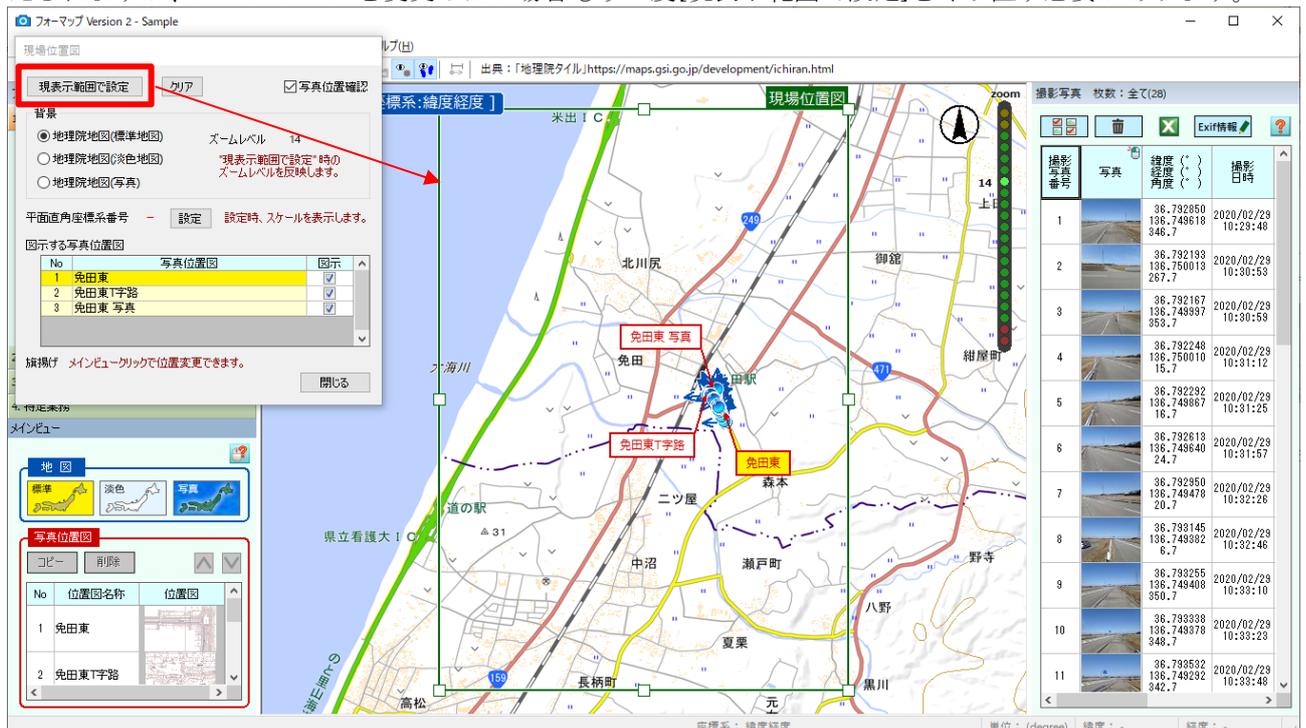
複数現場の概略位置図を Excel 形式で出力することができ、調査レポートでの冒頭の帳票として使えます。

### (1)現場位置図の作成

フローの[現場位置図]ボタンから現場位置図画面を開きます。



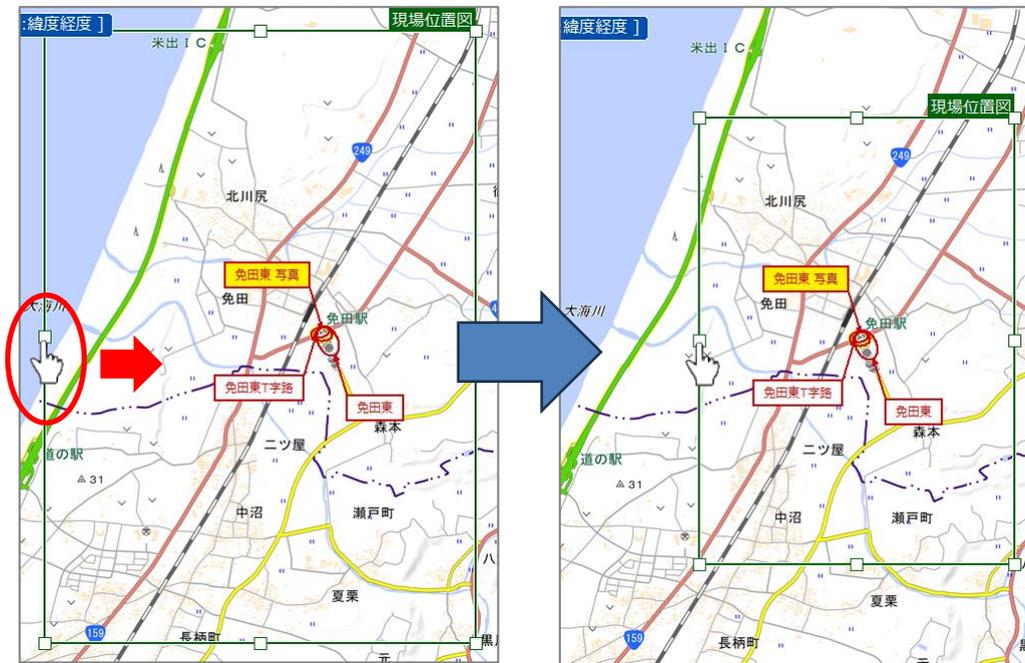
[現表示範囲で設定]ボタンをクリックすると、表示している地理院地図の範囲・地図種類・ズームレベルを現場位置図の背景地図として設定され、地図上に範囲枠が表示されます。範囲・地図種類は設定後も切り替えられますが、ズームレベルを変更したい場合もう一度[現表示範囲で設定]をやり直す必要があります。



「写真位置確認」のチェックを外すと、ビュー上の写真位置マークが非表示になります。



地図上の枠にマウスを合わせるとマウスカーソルの表示が変わり、各辺を移動できます。現場位置図の範囲の比率は固定です。また、現場位置図は回転できません。



【設定】ボタンをクリックして平面直角座標番号をすると現場位置図にスケールが表示されます。

【ビュー】

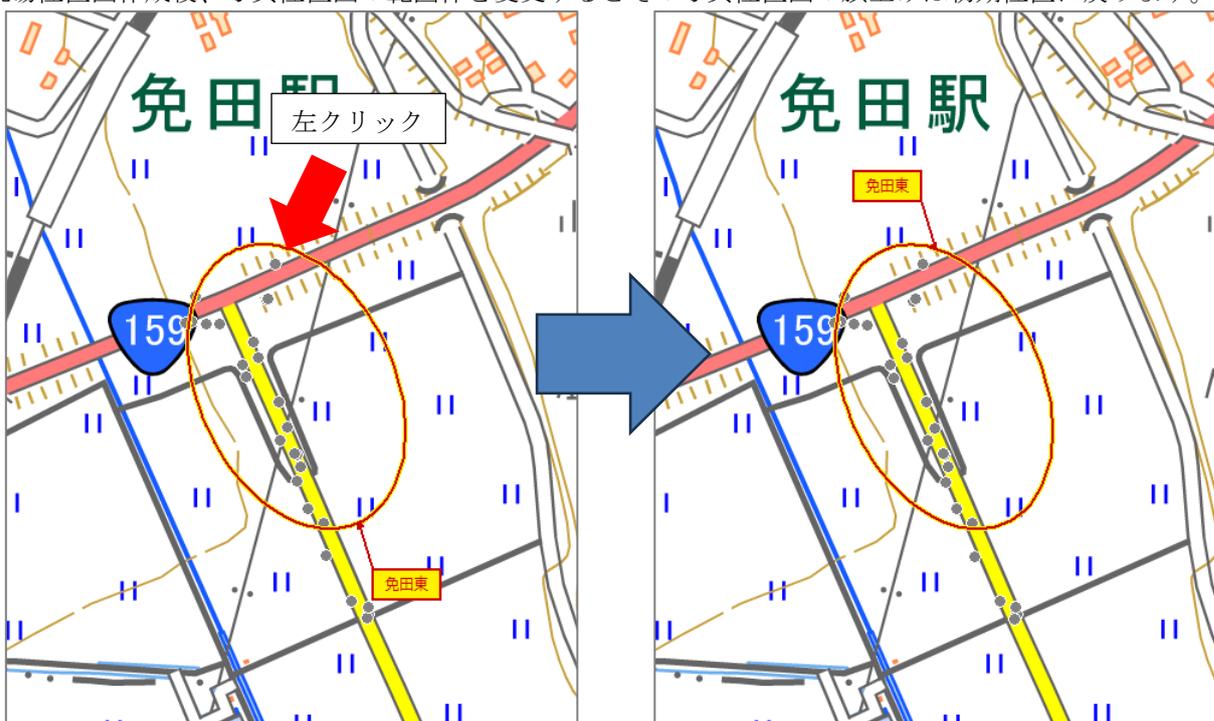
【出力】



座標を持つ写真位置図が作成されている場合、現場位置図上にその位置を図示します。「図示する写真位置図」で図示欄のチェックを外すと現場位置図には表示されなくなります。

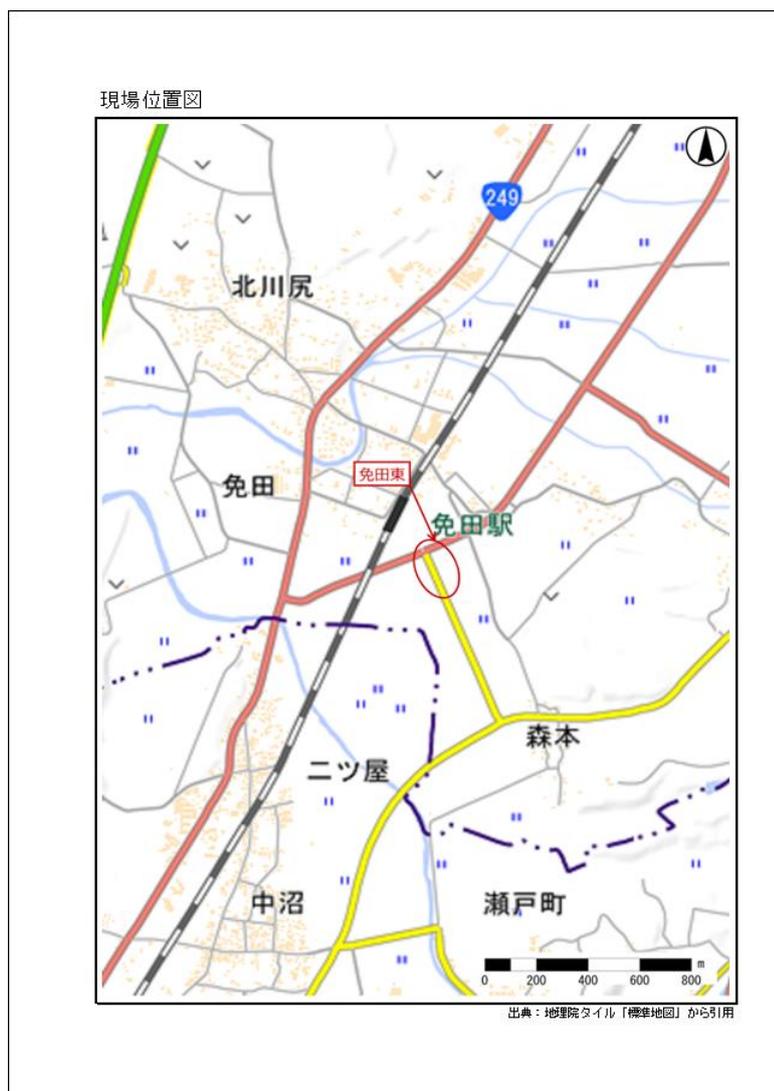


メインビューをクリックすると、その位置に選択中の写真位置図の旗上げが移動します。現場位置図作成後、写真位置図の範囲枠を変更するとその写真位置図の旗上げは初期位置に戻ります。



## (2)現場位置図の出力

フローの出カステージから[現場位置図出力]ボタンをクリックすると、現場位置図が Excel 形式で出力されます。



## 15. ため池劣化状況評価調査表の作成機能を追加

特定業務として「ため池劣化状況評価調査」のための調査項目入力と帳票出力機能が追加されました。写真位置図単位でため池劣化状況評価調査表を作成します。

ため池劣化状況評価調査表

ため池情報

ため池ID	999
ため池名称	〇〇ため池
調査日	令和△年□月〇日

劣化状況評価個表 堤体の変形に関する変状(①断面変形率)

表1 表2 表3 表4-1 表4-2 表5 表6 表7

当初堤体断面と現況堤体断面の重ね図

変状部写真

No	写真	変状説明	位置図写真番号
1		堤頂状況 堤頂幅〇〇m	P9
2		堤頂状況 堤頂幅〇〇m	P15
3		堤体下流法面状況 勾配1:2.0m	P11
4		堤体上流法面状況 勾配1:〇〇m	P13

[追加]ボタンをクリックすると、選択している位置図内写真が変状部写真リストに追加されます。既に変状部写真リストにある場合追加できません。

位置図内写真

位置図写真番号	写真	撮影日	撮影時刻	コメント
P1		2023/06/30	09:49:38	
P2		2023/06/30	09:49:45	
P3		2023/06/30	09:53:32	
P4		2023/06/30	09:53:39	

変状部写真

No	写真	変状説明	位置図写真番号
3		堤体下流法面状況 勾配1:2.0m	
4		堤体上流法面状況	
5			P1

変状部写真リストの末尾に追加されます。

[変更]ボタンをクリックすると、選択している変状部写真リストの写真を選択している位置図内写真に変更します。既に変状部写真リストにある場合変更できません。

位置図内写真

位置図写真番号	写真	撮影日	撮影時刻	コメント
P1		2023/06/30	09:49:38	
P2		2023/06/30	09:49:45	
P3		2023/06/30	09:53:32	

変状部写真

No	写真	変状説明	位置図写真番号
1		堤頂状況 堤頂幅〇〇m	P9
2		堤頂状況 堤頂幅〇〇m	P15
3		堤体下流法面状況 勾配1:2.0m	P11

「P9」だったNo.1の写真が「P1」に変更されました。

変状部写真

No	写真	変状説明	位置図写真番号
1			P1

## ■劣化状況評価個表

タブごとに、ため池劣化状況評価調査表の各表への設定を行います。

劣化状況評価個表 堤体の変形に関する変状 (①断面変形率)

表1 表2 表3 表4-1 表4-2 表5 表6 表7

当初堤体断面と現況堤体断面の重ね図

読み 削除

変状部写真 削除

No	写真	変状説明	位置図写真番号
1		堤頂状況 堤頂幅○○m	P9
2		堤頂状況 堤頂幅○○m	P15
3		堤体下流法面状況 勾配1:2.0m	P11
4		堤体上流法面状況 勾配1:○○m	P13

劣化状況評価調査表

劣化状況評価個表1	: 堤体の変形に関する変状 (①断面変形率)
劣化状況評価個表2	: 堤体の変形に関する変状 (②断面変形率以外)
劣化状況評価個表3	: 堤体等からの漏水
劣化状況評価個表4-1	: 洪水吐き(コンクリート構造)の変状
劣化状況評価個表4-2	: 洪水吐き(非コンクリート構造)の変状
劣化状況評価個表5	: 取水放流設備の変状
劣化状況評価個表6	: 貯水池の斜面及び地山法面の変状
劣化状況評価個表7	: ゲート等機械設備の変状
劣化状況評価総括表	

劣化状況評価個表1：堤体の変形に関する変状 (①断面変形率)

[当初堤体断面と現況堤体断面の重ね図]

現況堤体断面 = 67.41 - 0.25 = 67.16 m

堤体断面変形率 =  $\frac{67.41 - 67.16}{67.41} \times 100 = 0.37\%$

[変状部写真]

堤頂状況 堤頂幅○○m	堤頂状況 堤頂幅○○m
堤体下流法面状況 勾配1:2.0m	堤体上流法面状況 勾配1:○○m

## 16. 写真台帳のパターンを追加

写真台帳画面での出力パターンを追加しました。

写真位置図 / 写真台帳 出力

出力選択 全ON 全OFF

No	位置図名称	出力
1	免田東	<input checked="" type="checkbox"/>
2	免田東T字路	<input checked="" type="checkbox"/>
3	免田東 写真	<input checked="" type="checkbox"/>

表紙

向き  
 縦  
 横

定型項目名セット: 1 2 3 4 ?

タイトル	フォーマップサンプル
所属	ABC株式会社
報告者	山田太郎
発生日時	令和5年7月20日
報告日付	令和5年7月21日

\*表紙は最初に出力されるExcel Bookに含まれます。

写真位置図

向き  
 縦(A4)  
 横(A4)  
 横(A3)

写真を配置する  
 両サイド1列  
 写真のコメントも配置する

位置図画質  
 高  
 標準

写真台帳

A4(縦) 3行

撮影時刻の表示形式  
 出力しない  
 年/月/日  
 年/月/日 時:分  
 年/月/日 時:分:秒

写真画質  
 最高  
 高  
 標準

写真一覧  
 元ファイル名出力

出力ファイル名検索子

Excel出力

設定 キャンセル

【Sample-Excel】20230731のファイルが出力します。同名のファイルが既に存在する場合は書き保存されません。

### 【写真位置図】

横 A3 の写真位置図で「写真を配置する」にチェックを付けたとき、写真の配置方法として両サイド1列、両サイド2列を追加しました。

写真位置図

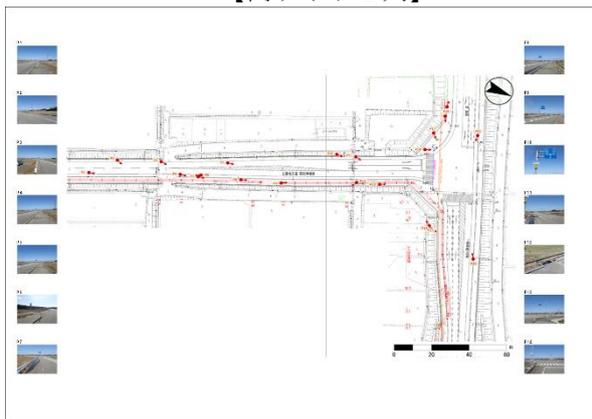
向き  
 縦(A4)  
 横(A4)  
 横(A3)

写真を配置する

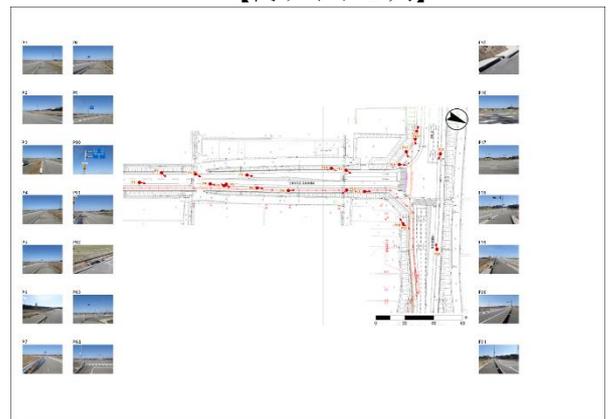
周囲配置  
 周囲配置  
 両サイド1列  
 両サイド2列

も配置する

【両サイド1列】



【両サイド2列】



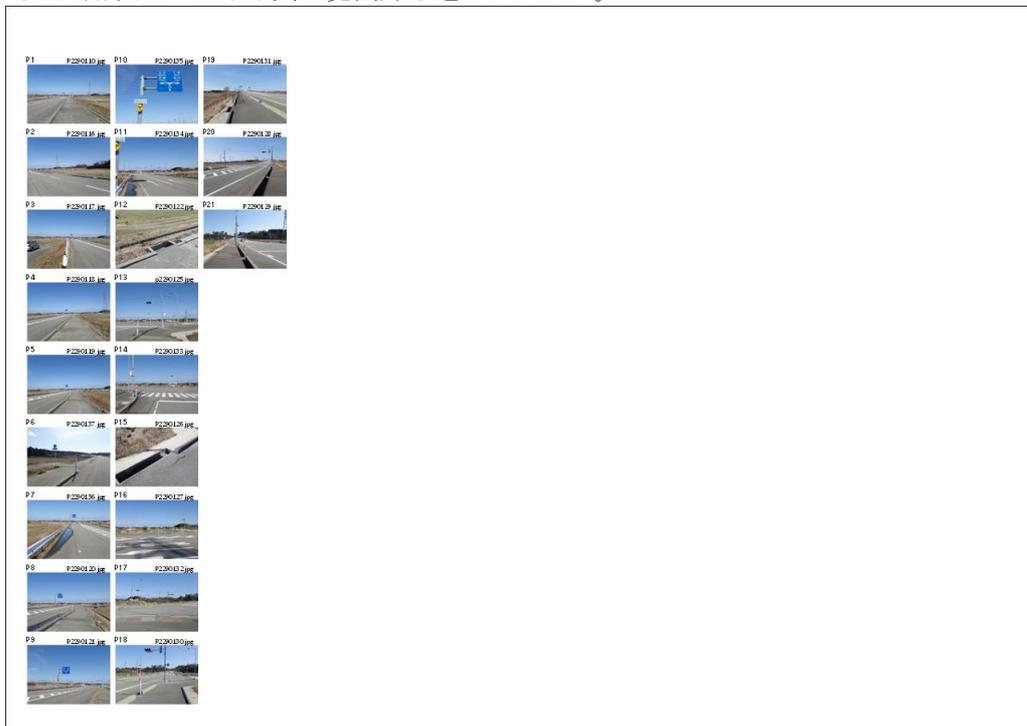
**【写真台帳】**

A4(縦)で表が3列×4行の写真台帳パターンを追加しました。



**【写真一覧】**

写真のみをA3用紙に並べる写真一覧出力を追加しました。



「元ファイル名出力」にチェックを付けた場合、位置図写真名の横に元ファイル名が表記されます。



**【出力先】**

「プロジェクトフォルダ¥excel」フォルダにファイル作成時の年月日のフォルダを作成し、その中にExcelファイルを出力するように変更されました。

## 17. 写真一覧画面や写真台帳画面の表の出力を追加

撮影写真ペイン・一覧選択画面・写真台帳画面それぞれにある表を Excel 形式で出力する機能を追加しました。

### 【撮影写真リスト】

撮影写真番号	写真	緯度 経度 角度	撮影日時
1		36.792850 136.749618 346.7	2020/02/29 10:29:48
2		36.792193 136.750013 267.7	2020/02/29 10:30:53
3		36.792167 136.749997 353.7	2020/02/29 10:30:53
4		36.792248 136.750010 15.7	2020/02/29 10:31:12

### 【撮影写真一式】

No	1	2	3	4
写真				
緯度	36.792850	36.792193	36.792167	36.792248
経度	136.749618	136.750013	136.749997	136.750010
撮影日時	2020/02/29 10:29:48	2020/02/29 10:30:53	2020/02/29 10:30:53	2020/02/29 10:31:12
ファイル名	p000001.jpg	p000002.jpg	p000003.jpg	p000004.jpg
No	5	6	7	8
写真				
緯度	36.792292	36.792818	36.792950	36.793145
経度	136.749817	136.749440	136.749470	136.749300
撮影日時	2020/02/29 10:31:25	2020/02/29 10:31:57	2020/02/29 10:32:01	2020/02/29 10:32:44
ファイル名	p000005.jpg	p000006.jpg	p000007.jpg	p000008.jpg
No	9	10	11	12
写真				
緯度	36.793254	36.793238	36.793520	36.793715
経度	136.749600	136.749370	136.749320	136.749310
撮影日時	2020/02/29 10:32:10	2020/02/29 10:32:23	2020/02/29 10:32:48	2020/02/29 10:32:55
ファイル名	p000009.jpg	p000010.jpg	p000011.jpg	p000012.jpg
No	13	14	15	16
写真				
緯度	36.794045	36.794150	36.794150	36.794150
経度	136.749520	136.749500	136.749500	136.749500
撮影日時	2020/02/29 10:34:34	2020/02/29 10:34:50	2020/02/29 10:34:54	2020/02/29 10:34:55
ファイル名	p000013.jpg	p000014.jpg	p000015.jpg	p000016.jpg
No	17	18	19	20
写真				
緯度	36.794452	36.794467	36.794712	36.794482
経度	136.749100	136.749110	136.749100	136.749120
撮影日時	2020/02/29 10:35:32	2020/02/29 10:35:48	2020/02/29 10:35:51	2020/02/29 10:37:38
ファイル名	p000017.jpg	p000018.jpg	p000019.jpg	p000020.jpg

### 【写真台帳リスト】

位置図 写真番号	写真	撮影日	撮影時刻	コメント
P1		2020/02/29	10:29:48	
P2		2020/02/29	10:32:26	
P3		2020/02/29	10:32:46	
P4		2020/02/29	10:38:10	
P5		2020/02/29	10:33:23	

## 18. フォーマップで編集した写真情報を写真の Exif に書き込む機能を追加

撮影写真ページの[Exif 情報]ボタンをクリックすると、フォーマップ内の写真ファイル全てを対象に緯度・経度・撮影角度・撮影日時を上書きします。

撮影写真 枚数：全て(28)

Exif情報

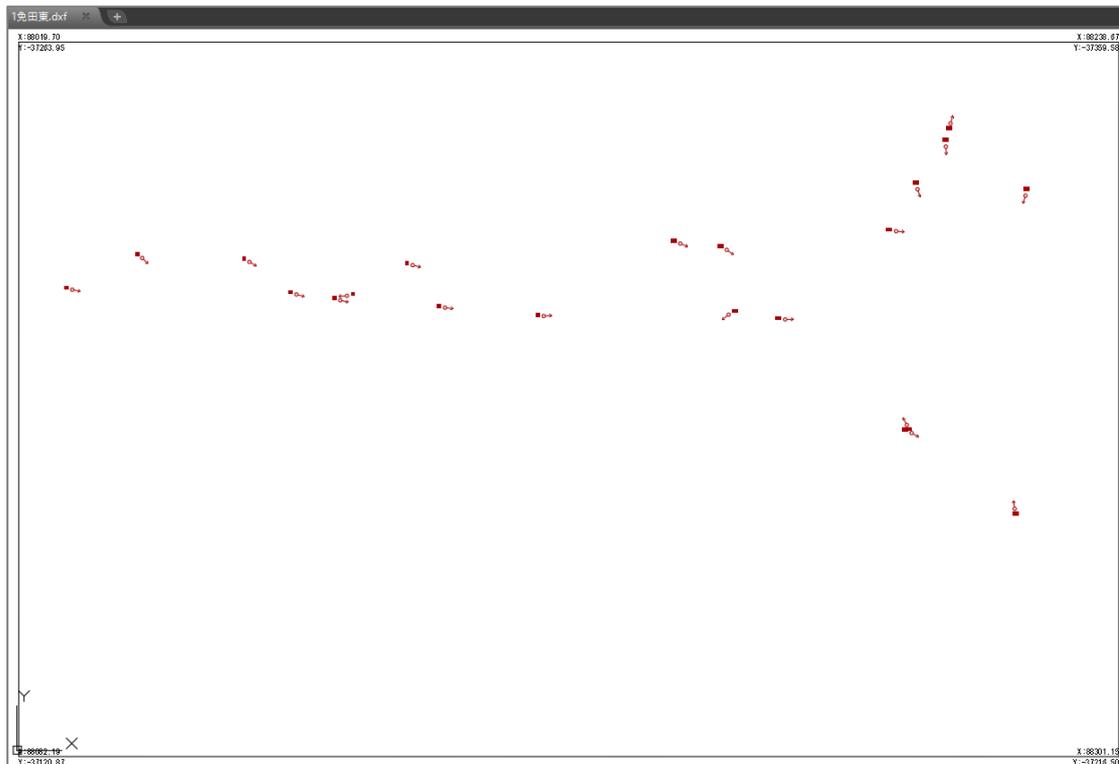
撮影写真番号	写真	緯度 (°) 経度 (°) 角度 (°)	撮影日時
1		36.792850 136.749618 346.7	2020/02/29 10:29:48
2		36.792193 136.750013 267.7	2020/02/29 10:30:53
3		36.792167 136.749997 353.7	2020/02/29 10:30:59
4		36.792248 136.750010 15.7	2020/02/29 10:31:12

## 19. 写真位置の CAD 出力機能追加

写真位置図単位で位置図枠・配置された位置図内写真の写真位置を CAD 出力する機能を追加しました。対象となる位置図は、CAD 取込みが背景地図の位置図です（取込元の CAD の座標で出力するためです）。また、フォーマット Version1 で作成した位置図は CAD 出力に必要なファイルが作られていません。バージョン 2 以降のフォーマットで、あらためて位置図を取り込む必要があります。



### 【出力】

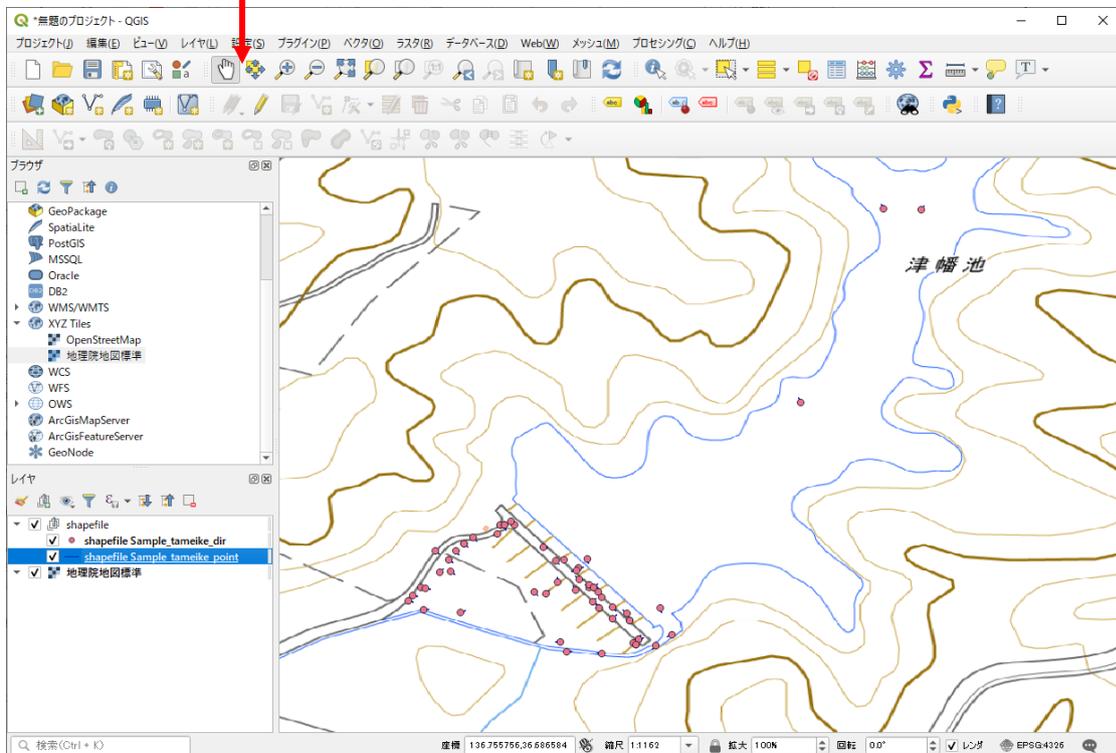
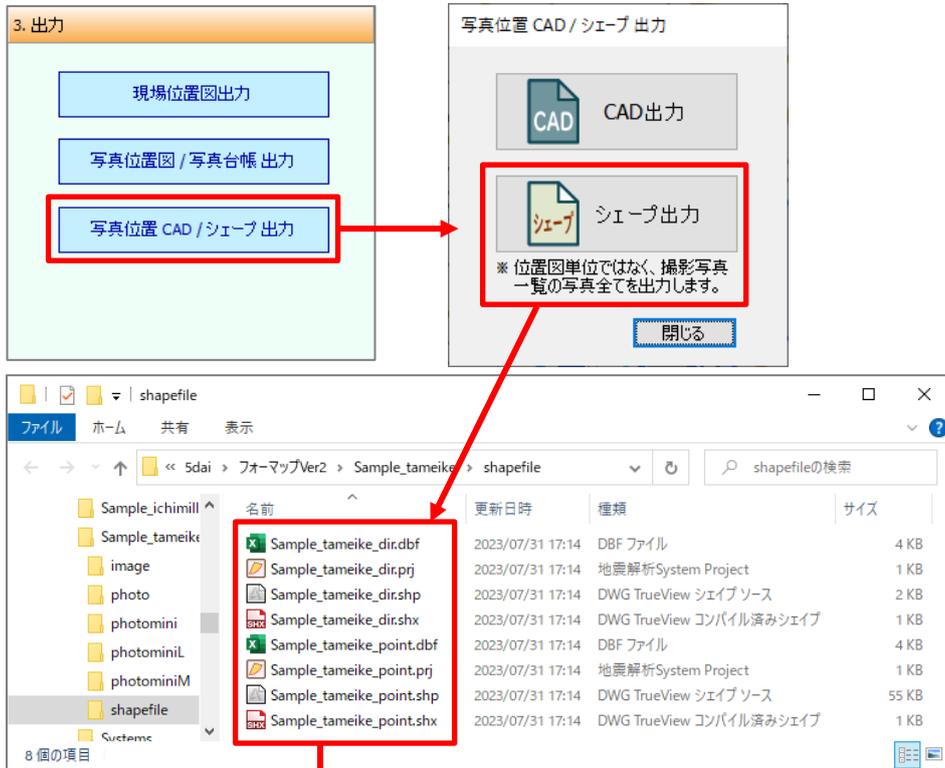


写真位置と位置図枠が出力されます。位置図枠の 4 隅にその点の平面直角座標が記述されます。位置合わせにご利用ください。元の CAD 図面の座標で出力されているため、別途 CAD ソフトで[同一位置で貼り付け]コマンドを使用して元の CAD 図面と重ねることもできます。

## 20. 写真位置のシェープ出力機能追加

「フォーマップ」のプロジェクトに取り込まれた座標情報を持つ写真全てを、緯度経度形式でシェープファイル出力する機能を追加しました。

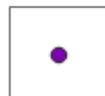
QGISなどのGISソフトにプロットできます。



出力位置を示す方法が異なる2つのファイルを作成しています。



【ライン】  
撮影方向付き。



【ポイント】  
常に一定のサイズ。  
撮影方向は図示されない。

## 21. その他の操作説明について

この補足説明書には、「フォーマップ Version 2」の追加機能についてのみの説明となっております。「フォーマップ」全体の説明については、ヘルプ機能を確認してください。

### ■ヘルプ機能



### ■PDF

取り扱い説明書（フォーマップ Ver2 取扱説明書.pdf）





## サポート情報

### 製品サポート情報

当社では独自のユーザーサポートシステムを設け、オフィシャルユーザーとしてご登録いただいたユーザーの方々に対し、きめ細かなサポートサービスを行っております。当社のアプリケーションについてのお問い合わせは、「問い合わせシート」をご利用ください。

オフィシャルユーザー登録につきましては、製品のご購入の時点でオフィシャルユーザーとして登録させていただきます。製品発送時に、「ユーザー登録完了のお知らせ」を同封いたします。製品のお問い合わせには「ユーザー登録完了のお知らせ」をご用意の上、ご連絡ください。担当者変更の際には **FAX** または郵送にてお知らせください。バージョンアップの情報提供などをご案内させていただきます。

### ユーザーサポート連絡先

〒921-8051 石川県金沢市黒田1丁目35番地

五大開発株式会社

ユーザーサポート係

TEL 050-3385-2996

{祝祭日と年末年始を除く月～金曜 9:00～12:00 13:00～17:00}

FAX 076-240-9585

ホームページアドレス <http://www.godai.co.jp/>

E-Mail アドレス [pp-info@godai.co.jp](mailto:pp-info@godai.co.jp)

# お問い合わせ

当社のアプリケーションについてのお問い合わせは、このお問い合わせシートをコピーし、下記の事項をご記入  
 いただいたうえで、ユーザーサポート係までご連絡ください。

	年 月 日 この紙を含めて ( ) 枚		
五大開発株式会社 ユーザーサポート係  電話 (直通) 050-3385-2996 FAX (076) 240-9585	御 社 名		
	御 担 当 課		
	御 担 当 者		
	御 住 所		
	電 話		
	F A X		
プログラム名 : フォーマップ ..... プログラムのシリアル No.*1 : ..... プログラムのバージョン*2 : ..... Windows のバージョン*3 : ..... コンピュータの機種 : メーカー名 機種名 CPU 名 ..... 全メモリ容量 : ..... プリンタの機種 : メーカー名 機種名 ..... プロッタの機種 : メーカー名 機種名 ..... その他の周辺機器 : ..... [ お問い合わせ内容 ]			
1.プログラムのシリアル No.は、プロテクトキーのタグに記載されています。 2.プログラムのバージョンは、[ヘルプ]-[バージョン情報]で確認できます。 3.Windows のバージョンは[PC]の[プロパティ]-[詳細情報]のシステムの項目で確認できます。			

## フォーマップ Version2 追加機能 補足説明書

---

2023年 7月 26日版

編著者 五大開発株式会社

発行者 五大開発株式会社

〒921-8051 石川県金沢市黒田1丁目35番地

TEL 050-3385-3063 FAX 076-240-9585

---